

## 28 ヨハネ 9 章 1-12

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

※どうやら当時、世間には「病気や先天的疾患、障害」などをもって生まれてくる方々のことを誰か、親兄弟、また先祖の罪ゆえにこのようなことが起こっているという「因果応報」的な見方、とらえ方があったようです。日本と少し似ていますね。

2、弟子たちが「この人が盲目で生まれたのは、誰が罪を犯したからですか。この人ですか。両親ですか」の質問にイエス様はなんとお答えになりましたか？ (3)

※私たちも、何か辛いことや苦しいことがあると「何でだろう、何でだろう、何で」としばしば後ろを振り返っては、そこで立ち止まってしまうことがあります。イエス様は、こうした苦難に遭うときに「何でだろう」と問うよりも、「何のために神様はこのような試練をお与えになったのか」を考えて、信仰をもって神の目的のために生きていくことが大切であることを教えてくださったのです。そして、それがどんなに大きな悩みや苦しみがあっても、神様がそのことを通して驚くべきみわざを成してくださるといことが分かれば、私たちはもはやそうした悩みや苦しみの中に沈んでしまうのではなく、やがてそれを益に変えてくださる神に期待して生きることができるのではないのでしょうか。

・次の御言葉を黙想してみましょう。

ローマ 8:28

I コリント 10:13

エレミヤ 29:11

3、私たちが行く「神のわざ」にはどのようなものがあるでしょう (ヨハネ 6:29)

・これらのことを心に留めつつ、4節の意味をディスカッションしてみましょう。

4、イエス様は目の見えない人の目を見えるようにされました。

・「エパタ」と言って口のきけない、耳の聞こえない人を癒されたことがあります。(マルコ 7:34)

・なんでここではわざわざ唾で泥を練り、目に塗るという手段が使われたのだと思いますか？〈お言葉一つで癒すこともできたでしょうに〉

また、主がこの盲目の方に求められたものは何だったと思いますか？

ディスカッションしてみましょう。

5、今日の箇所を通して、神様はどのようなお方でしょう。またどんな約束、模範がある？またどんな注意、戒めがある？